

南ア月報  
(2019年1月)

在南アフリカ日本国大使館

【内政】

- 与党ANC創立107年記念ラリーの開催

【外政】

- シスル国際関係・協力大臣のアルジェリア訪問
- ラマポーザ大統領のモザンビーク訪問
- ラマポーザ大統領のダボス会議出席
- ラマポーザ大統領のインド訪問

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数 (CPI)
- 政策金利
- 為替レート
- 製造業
- 鉱業生産高

<出来事>

- 新たな経済特区の制定と投資の拡大
- 国内電力引き上げの公聴会開始

【警備】

- 年末年始の交通死亡事故発生状況

1 内政

- 与党ANC創立107年記念ラリーの開催

12日、ダーバンにおいてANC創立107年記念ラリーが開催され、ラマポーザ大統領(ANC総裁)が総選挙に向けたマニフェストの表明演説を行った。

2 外政

- シスル国際関係・協力大臣のアルジェリア訪問

13日から14日にかけて、シスル南ア国際関係・協力大臣がアルジェリアを訪問し、メサヘル・アルジェリア外務大臣と会談した。この訪問は、2018年8月のサヘル大臣の南アフリカ訪問へのフォローアップとして位置づけられ、両大臣は二国間問題、西サハラを含む大陸問題および国際的な問題について議論を行った（投資・雇用・教育・保険分野等に言及）。

#### ●ラマポーザ大統領のモザンビーク訪問

14日、ラマポーザ大統領は、ニュシ大統領の招待によりモザンビークを訪問し、会談を行った。両首脳は、植民地主義とアパルトヘイト解放闘争の時代に遡る、二国間の歴史的かつ友好関係を認識するとともに、エネルギー、農業、文化芸術、防衛と安全保障、教育と環境、科学技術、移民、観光、貿易投資を含む幅広い分野における70以上の二国間協定及び覚書について言及した。

#### ●ラマポーザ大統領のダボス会議出席

22日から25日にかけて、ラマポーザ大統領は、ダボス会議に出席するためにスイスを訪問した。ラマポーザ大統領は、パートナーシップと対話は南アフリカにとって不可欠であり、南アフリカのチームとして、世界中のすべての人々、そしてすべての友人たちに、成長と再生のための我々の道に加わるよう呼びかける旨述べた。

#### ●ラマポーザ大統領のインド訪問

25日から26日、ラマポーザ大統領は、モディ首相の招待により国賓としてインドを訪問し、モディ首相と会談を行ったほか、インド独立70周年記念パレードに出席した。また、ラマポーザ大統領は、この機会に開催されたインド・南アビジネス経済フォーラムで基調講演を行い、インドと南アフリカは2世紀以上にわたり友好関係にあり、この両BRICS加盟国間における政府および民間部門における幅広い分野における関係強化を期待する旨述べた。

### 3 経済

#### <経済指標>

##### ●消費者物価指数（CPI）

12月の消費者物価指数（CPI）は、前月比0.7%減の4.5%。南ア準備銀行が定めるインフレターゲット（3%～5%）の中間になった。11月から12月にかけて、物価は平均して0.2%減少した。（南ア統計局、1月23日）

##### ●政策金利

南ア準備銀行（中銀）は隔月の金利政策委員会を開催し、政策金利を 6.75%に据置くことを発表。本判断は、前回委員会時からのインフレリスクの軽減を受け、前回一致で決定された。新たな中核インフレ率予測は、2018年 4.3%、2019年 5.0%、2020年 5.1%、2021年 4.8%。また、中銀の新たな GDP 成長率は、2018年 0.7% (0.6%)、2019年 1.7% (1.9%)、2020年 2.0% (変動なし) (括弧内は前回の委員会時の予想)。(1月17日、南ア準備銀行)

## ●為替レート

2019年1月31日付（南ア準備銀行）

- 8.1580 円/ランド
- 13.3249 ランド/米ドル
- 15.3296 ランド/ユーロ

## ●製造業

11月の製造業は、前年同月比 1.6%増。主なプラス要因は、食品・飲料製品で 5.2%増、自動車及び輸送機器関連製品で 6.2%増、他方で鉄鋼、非鉄金属製品及び電気機器製品で 1.7%減。季節調整後生産高は、前月比 0.7%増。11月までの過去 3ヶ月間で、季節調整後生産高は 0.8%増となり、製造業 10部門のうち、7部門で増加。(南ア統計局、1月10日)

## ●鉱業生産高

11月の鉱業生産高は、前年同月比 5.6%減となり、主に鉄鉱石で 19.7%減、金で 14%減、ダイヤモンドで 14%減、非金属鉱物で 12.4%減となった。季節調整後生産高は、前月比 5.8%減。11月までの過去 3ヶ月間では、それ以前の 3ヶ月間に比べて 1.5%減。特に、ダイヤモンドで 26.9%減、鉄鉱石で 8.9%減、金で 7.4%減となった。他方、PGMs は 4.6%増、マンガン鉱石で 19.6%増となった。(南ア統計局 1月15日)

## <出来事>

### ●新たな経済特区の制定と投資の拡大

デービス貿易産業省大臣は、10カ所目となる経済特区 (Special Economic Zone) をムプマランガ州のシコマジ郡に制定したことを発表。同特区は、農産物加工のハブとして機能する予定。これまでの国家経済特区プログラムでは、貿易産業省によると、これまで 115の企業を誘致し、116億ランドの投資と 46億ランドの公共投資、1万4020人分の雇用を創

出。また、同大臣は2 経済特区への投資を2019 年末までに現在のほぼ倍の230 億ランドに拡大するとの意向も表明した。(Engineering News、Business day、2019 年1 月8 日)

#### ●国内電力引き上げの公聴会開始

1 4 日、南ア電力公社 (Eskom) が南ア国家エネルギー規制庁 (NERSA) に対して要求している3 年間にわたる1 5 %の電気料金の引き上げに関する公聴会が開催された。Eskom は国内状況を勘案すると電力料金引き上げが困難であることは認めつつも、過去2 年間の電力料金引き上げ幅がインフレ率を下回っていること、この1 0 年間でインフレ率が5 倍になっている中でEskom の負債は1 0 倍になっていること、コスト削減だけではEskom の財務状況が悪化の一途を辿ることなどを理由に、料金引き上げを要求。公聴会は、今後、全国で3 週間にわたって行われる予定。

## 4 警備

#### ●年末年始の交通死亡事故発生状況

南ア政府から年末年始における交通死亡事故に関する統計が発表された。統計は、2 0 1 8 年1 2 月1 日から2 0 1 9 年1 月第1 週までの交通事故死者数に関するもので、この期間中の交通事故死者数は1 6 1 2 人であり、前年同期の1 5 2 7 人から5 . 5 パーセントの増加となった。州ごとの内訳を見ると、全国9 州のうち最も死者数が多かったのはクワズールナタール州の3 2 8 人、次いで東ケープ州の2 3 8 人となっている。

#### ●オリバータンボ国際空港からの追尾強盗

1 4 日、トルコ航空の乗務員がシャトルバスで空港からサントンに向かう途中、強盗に襲われ、現金や貴重品を強奪された。この他にも、空港からの追尾強盗が複数発生しており、モール・オブ・アフリカ付近でも被害があった。このうち1 件では、被害者が腕を撃たれて負傷している。一時期、沈静化していた追尾強盗であるが、増加の兆しが見られるため注意が必要である。